

平成30年度 第2回 南丹市いじめ問題対策連絡協議会 会議録

日時：平成31年3月12日(火) 午後7時00分から7時40分まで

会場：南丹市役所 2号庁舎 301会議室

出席者：

市いじめ問題対策連絡協議会委員：順不同

岡島賢峰会長、吉田伸一副会長、畑ふみ子委員、坪井秀粹委員、中井順市委員、大狩弘委員、外田誠委員、谷義治委員、西岡恭子委員、野々口二三男委員、坂瀬一哉委員、原禰秀幸委員、前田和代委員、勝田美恵子委員、武田義史委員、兒玉周司委員、滝本哲也委員、藤田恒久委員、榎本尚委員

南丹市：順不同

弓削市民福祉部長、野々口子育て支援課長、平井人権政策課長、奥村人権政策課長補佐

南丹市教育委員会：順不同

中川教育次長、寺田社会教育課長、山内学校教育課長

会議概要

1 開会

事務局：人権政策課長

2 会長あいさつ

岡島会長

今年度、南丹市内のいじめの事象はなかった。様々ないじめがあるが全国では家庭内の暴力が報道されている。また、学校での暴力により不登校に繋がることもある。今日の新聞にもあったが、府内の教師によるいじめの記事が掲載されていた。教師のいじめがあってはならない。

今日は短い時間ではあるが、今年度の統括をさせて頂きたい。

3 報告事項

- ・第1回連絡協議会について－平成30年8月20日開催
- ・「南丹市いじめ防止等対策委員会」について（事務局：教育委員会）
 - 第1回－平成30年8月21日開催
 - 第2回－平成30年10月22日開催

いじめの重大事態発生時の、対応策などフローを確認。

第3回－平成31年3月6日開催

第1回いじめ調査の追跡調査、第2回いじめ調査の検証を実施。

- ・「南丹市いじめ問題に関する第三者調査委員会」について

本委員会は、重大な事象が発生して、防止対策委員会で検証した結果、再調査が必要となった場合に開催するものであり、再調査事案が無い場合は未開催となります。

- ・第1回いじめ調査の追跡調査及び第2回いじめ調査のまとめについて

「平成30年度第1回いじめ調査の追跡調査結果及び第2回いじめ調査結果」についてご報告します。

南丹市では、京都府の「いじめ調査」を活用して南丹市の「いじめ調査」を行っています。この調査は、いじめの実態把握を行うことにより、いじめの早期発見・早期指導とその対応に繋いでいくことを目的としており、学期末毎に年間計3回行っています。

平成29年3月に国のいじめ防止基本方針が改定され、「いじめの解消」が定義づけされたことにより、昨年度第2回いじめ調査から前回調査の追跡調査を行うこととなっています。

それでは、第1回いじめ調査の追跡調査結果、第2回いじめ調査結果の順にご報告いたします。資料をご覧ください。

まず、平成30年度第1回いじめ調査の追跡調査結果についてです。第1回調査で、未解消であった件数は小学校で101件、中学校で10件ありましたが、今回の追跡調査により解消に至った件数は小学校で90件、中学校で7件となりました。小学校では、「いじめの行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じている」状態である「要指導」が未だに6件あり、該当校には、引き続き適切な指導と当該児童等の様子を含めた経過観察を組織的に行うことを求めているところです。

続きまして、平成30年度第2回いじめ調査の結果について、ご報告いたします。認知件数は、小学校122件、中学校17件で、小学校ではそのうち「要指導」22件、「要支援」6件、中学校では「要指導」はなく、「要支援」

が9件となっています。いじめの態様は、今回も小・中学校とも「嫌なことを言われる」が一番多く、ついで、「軽く暴力をふるわれる」「仲間はずれや無視をされる」が多くなっています。

各校には、引き続き学校いじめ防止委員会を中心としたいじめの未然防止と早期発見・早期対応・経過観察に組織的に取り組むことや、いじめ事象について全教職員で共通理解を図り、正しい状況判断のもと適切に対応することについて周知徹底を図るよう指導しており、今後とも関係機関との連携を密に図りながら、より一層いじめの根絶に向けた取組を前進させてまいりたいと考えております。

4 その他

- ・いじめ対策に係る事例集の紹介

文部科学省による平成29年3月の「いじめの防止等のための基本的な方針」の改正、「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の策定後、年が経過するなか、いじめ対策に係る事例集が作成されました。

今回、ケース27を事例として添付しているが、他県の取り込みとして、「いじめ防止強化月間」や「いじめ防止フォーラム」が開催されています。

また、ケース44では、インターネット上のいじめが掲載されており、この事例では解決していますが、取り組みによっては、いじめが残る可能性もあるので注意が必要と考えます。

- ・全国中学生人権作文コンテスト 京都大会優秀作品集について

今回は、優秀賞（京都地方法務局長賞）を受賞された南丹市桜が丘中学校の生徒の方の作品をご紹介します。（朗読により紹介）

- ・インターネットと人権の話について（パンフレット配布）

ネットは早く情報が広がるため、早い対応が必要です。

- ・各団体等におけるいじめ問題対策の取組について

各団体等で取り組みをされているものがあれば、ご紹介いただきたいと思います。

- ・次年度の連絡協議会の活動について

協議会委員の任期は2年（2020年3月31日まで）で、年2回の開催ですが、横の繋がりが必要と考えますので31年度もよろしくお願いします。

5 閉会

吉田副会長あいさつ

平成30年度は、南丹市ではいじめの事案がなく良かったが、いじめが高度になってきており、インターネットも広がってきた。私たちも日々学習をしていきたいと思う。